



## せきしつ 石室になぜ「はにわ」をおくの

### こふん つち 古墳の土をせきとめるため

はにわは、日本の人形のおおもとだといわれています。このはにわは、古墳の石室におかれていますばかりでなく、古墳の丘全体に、特に斜面の部分に並べられています。その理由については、「丘の土がくずれたり流れたりしないように、土をせきとめるためにおかれたものだ」とか、「ここは死者を祭った神聖な場所である、ということを示すためにおかれた」とか、いろいろな説がありますが、はっきりこれといったものはありません。

### した もの 親しかった者をいっしょにほうむる

はにわには、大きくわけて二つの種類があります。「円筒はにわ」は、たて長の塔のような円形をしており、食器としての壺をまねて作られていて、古墳の丘に並べられています。もう一つは、「形象はにわ」とよばれるもので、人間や動物や家、などの形をしたはにわです。人間のいろいろなポーズや、イヌ、ウマ、家などが作られていて、当時の人々がどんな姿をしていたか、どんな家に住んでどんな道具を使い、どんな動物と仲良くしていたかを知ることができます。

この形象はにわは、「死者が活着ているとき、親しかった者を道づれにして、いっしょにほうむってあげよう」という考えが、こめられていたようです。（監修・保岡 孝之）

